

経営指導員が発見! キラ★星企業

No.68

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



今までの歩み

昭和32年に創業した「河野トラック株式会社」は、現在、超重量物・かつ大品・特殊形状品・精密機器などを対象に、トレーラーでの運送事業を展開している運送会社である。地域密着を標榜する同社は、地場産業である燐寸の原料や製品の運送から始まり、その後、播磨臨海部で重工業が発展、大型化するのに伴い、それに対応したトレーラーを導入するなど、時代のニーズに適応することで発展してきた。「できない。」ではなく、「どうやったらできるか。」を考え対応してきたことで、播磨の地で、信頼を獲得、同時に、業績と技術力の向上にも繋がったのだ。従来、人の背丈の2倍以上の直径を持つタイヤを運ぶ際、大型トレーラーに横積みするのが通例であった。しかし、横幅が大きくなり危険なうえ、走行時間の規制もあり、輸送は、夜中のみ許可されていた。また1台当たりに載せられるタイヤの数は1本で、複数のトレーラーで何往復もしていた。そこで、同社は、オーダーメイドでトレーラーの荷台を製作し、その大型タイヤを縦積みできるようにしたのだ。その結果、1台につき大型タイヤ4本の積載と、昼間の輸送が可能になる等、大幅な改善を実現した。さらに、オーダーメイドで製作したこの荷台で特許を出願中である。「どうやったらできるか、難しいけどやってみようじゃないか。」という同社の企業精神が具体化したものである。この精神は、綿々と受け継がれており、2016年、県内唯一である100tの超重量物に対応したトレーラー導入へと繋がった。今や、従業員16名という姫路では小さな会社が、姫路で一番大きな荷物を運ぶことができる会社へと発展してきたのである。

更なる発展のために、100tトレーラーの導入

従来、同社では、50t積みのトレーラーが、最も大きいトレーラーであったため、50t超の荷物の輸送依頼には応えられない状況であった。そのため、100tトレーラーの導入案が出されたが、使用機会が僅かではないかという危惧もあり、導入については社内でも意見が分かれた。議論の末、「ここで導入しないと会社の成長はない。」との考えに至り、これまでとは比較にならないほどの重量荷物の運搬に挑戦すること

地域密着! 姫路の少数精鋭が、
時代の流れに対応した経営戦略で、物流の未来を切り開く

河野トラック株式会社

代表取締役
専務取締役

河野敏彦

を決断。それは、長年培った経験と、高い技術力を持つ人材がいたからこそであった。導入当初は、既存顧客からの極僅かな依頼に留まっていた。しかし、これまで播磨地域において、100tクラスの重量物を扱える技術力とトレーラーを有する運送会社が無かったために、他県の会社に依頼していたお客様の中で、「河野トラックさんはあんなことも、こんなこともできる」という口コミが広がり、依頼が少しずつ増加し、新規顧客の獲得へと繋がった。

アットホームな雰囲気づくりが改善の秘訣

「社員と社員の家族をより豊かにしたい」というのは、創業当初から同社の基本的な考えである。一方、超重量物の輸送作業は夜勤が多く、極めて繊細、かつストレスフルな作業となる。そのため、家族との時間を充実させることが大事だと考え、休暇制度を整え、男性の育児休暇取得実績があるなど、働き方改革を推進している。併せて、何でも言い合える社内の雰囲気作りを心掛けており、指導は厳しく、しかし提案は先輩後輩関係なくできる雰囲気づくりを行っているとのことだ。また、社員全員が「いつかより大きなトレーラーに乗ってみたい」という共通の夢や目的を持っているという。

今後の展望

同社は、「不可能を可能に」の精神を貫き、お客様の荷物、仕事に合わせた荷台やトレーラーを自ら開発することで、高品質なサービスを提供していき、播磨の地を支え、頼られる存在の会社を目指して日々奮闘していく。今年、新しくお洒落な事務所と第2車庫(重量物専用車庫)を構え、事業の拡大を図っていく準備はできた。挑戦し続ける同社の今後の活躍に期待したい。



DATA

事業内容: 運送
所在地: 〒672-8023 姫路市白浜町丙152-1
電話: 079-245-2811 FAX: 079-245-2813
URL: <http://www.kounotorakku.jp/vehide/>